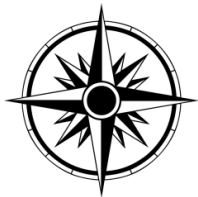


黎明 17 期生 2 学年通信

羅針盤



2018年7月20日(土) 第55号

＝ 7月のことば ＝

学べば学ぶほど、自分がどれだけ無知であるかを思い知らされる。自分の無知に気づけば気づくほど、より一層学びたくなる。

(アルバート・アインシュタイン (1879-1955))

17期生へのメッセージ(教育実習の先輩方より)

2学年で教育実習を行った先輩たちから、「17期生へのメッセージ」というテーマで文章を寄せていただきました。しっかり受け止め、心に刻もう。

新潟大学 理学部化学科4年 佐藤 恭也 さん

大学入試の改革により現在高校生2年生の皆さんはセンター試験がラストの代ということもあって各々がプレッシャーを感じていると思います。しかし恐れる必要はありません。日々の小さな積み重ねが大学合格を必ず導いてくれます。今後幾度となく学校のテストや模試を受けると思います。そこでは成績が思うように伸びず、苦しくて泣きそうな時期が何度も訪れるでしょう。でもそんな時こそ一度立ち止まって周りを見ましょ。皆さんの周りには相談に乗ってくれる先生がいます。一緒に励ましあえる仲間がいます。皆さんには支えてくれる人々がいるということを忘れないでください。そして目の前にある自分の苦手の一つひとつ克服していけばいいのです。最後まで諦めずに日々努力すれば自分の目指す進路は必ず実現できます。受験までの時間は全国の高校生すべてに平等に与えられています。その時間をどう使うかは皆さん次第です。黎明高校の生徒である皆さん一人ひとりが自分の将来に向けて進路を実現していくことを期待しています。頑張ってください。

新潟大学 人文学部4年 力丸 浩香 さん

みなさんこんにちは。地理歴史科日本史で教育実習生としてお世話になっていました力丸です。この度はみなさんへのメッセージということで、私の思っていることを少しお伝えしようと思います。

私は実習中に生徒のみなさんから質問をもらう機会が多々ありました。その中でも特に多かったのが高校での勉強の仕方や生活の過ごし方、また受験についてで、次点で大学生活についてでした。正直もっと大学での勉強について聞かれるかと思っていたので驚きました。考えてみれば未知の世界(大学)よりも自分が目の前にしている現実の問題へ関心があるのが当たり前ですよ。でも一旦目の前のことの、その先のことについて考えてみてください。大学に限らず他の未来でも構いません。そしてそこに辿り着くまでにはどんなことが必要だと考えますか？私は勉強も遊ぶことも、生きていく中で経験するすべてがこれからの糧となると思っています。一見必要ないようなことでも、無駄なことにも思えても、それが自分の一部となって支えてくれます。この教育実習での経験も私にとって大事な糧です。同じようにみなさんもたくさんの方に挑戦し、経験して行ってほしいと思います。

新潟大学 人文学部4年 白土 なな子 さん

2週間という短い間でしたが、大変お世話になりました。

私自身は、高校時代の3年間はあっという間だったように感じています。一方で、泣いたり、笑ったり、様々なことを経験した充実した3年間だったとも感じています。17期生の皆さんには、この貴重な時間を大切にさせていただきたいです。勉強でも部活動でも、何か一つでもいいので本気で取り組

んで、高校生活を全力で楽しんでください。

来年は受験生ということで、少し忙しくなるかと思います。時には辛く感じることもあるかと思いますが、最後まで頑張ってみてください。私たち実習生を含めこれまでに安積黎明高校を卒業した先輩たちも、皆それぞれに乗り越えて来たので、きっと大丈夫です。皆さんは黎明生です。自信を持ってください。

最後になりますが、実習生として温かく受け入れてくださった17期生の皆さん、ご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。様々なことを教えてくれて、応援してくれた1組のみならず、本当にありがとう。自分が高校生だったら入りたいような、最高のクラスでした。

17期生の皆さんのご活躍と、私たちのように修学旅行に台風が来ないことをお祈りしています。

福島大学 人文社会学群 人間発達文化学類 人間発達専攻4年 柳沼 耀斗 さん

お久しぶりです。先日はお世話になりました。教育実習生の柳沼耀斗です。皆さんのお陰で大変貴重な経験が出来ました。ありがとうございました。僕が安積黎明高校を卒業してからもう3年以上経ちます。あつという間です。まだ時々自分が高校生なんじゃないかと思ってしまうほどです。しかし、もう制服を着ることはなくて、決まった時間に毎日学校に行くこともなくて、学校で様々な人と机を並べ、1日一緒に勉強することだってほとんどありません。そう考えると、やっぱり、貴重だったのだなと振り返ります。その当時は分からなかったことも、嫌だったことも沢山あります。世の中は合理的で、理由のあることばかりではありません。どうしたって辛いことは沢山あります。でもそれは、小学校だって中学校だって、高校だって大学だって、就職したって変わりません。何の為にそれを耐えていくのか、耐えられるのかそれが問題です。自分の生活の為に夢の為に、それとも誰かの為に。何の為に耐えられるか、辛いことを楽しめるか。考えてみてほしいと思います。あなたの人生はあなたのものです。他の誰かに消費されるべきではありません。自分の思う通りに、生きられるとは限りませんが、生きられる様にもがく姿は美しいです。皆さんには美しく生きて欲しいと願っています。

弘前大学 理工学部 地球環境学科4年 佐藤 花野 さん

2週間大変お世話になりました。一生懸命に学校行事や勉強に取り組む皆さんを見て、本当に素敵な高校だと思いました。素直で若さ溢れる皆さんから、たくさん元気をもらいました。ありがとうございます。

私の高校生活は、常に時間との闘いでした。皆さんの中にも、部活動や委員会で役職に就いて更に忙しくなった人がいると思います。勉強と部活動の両立や、進路についてなど不安は多いかもしれませんが、目の前のことを一つずつ丁寧に、最後まで取り組んでほしいです。そして取り組む際には、短時間で課題を終わらせる、効率的な練習をするなど目標を決め、それを達成するために工夫してみてください。大切なのは目標を達成することではありません。目標を達成するために自分なりに考え、行動すること、自分が頑張ったという経験をするのが大切だと思います。高校2年生で何かを頑張った経験は、いつか大きな目標を達成する時に、自分の力になると思います。

高校時代に何かをやり遂げたという経験は、進学または就職する際にとても自信になります。勉強でも部活動や委員会でも何でも良いので、これだけは頑張る、という目標を持って、残りの高校生活を全力で楽しんでください。

夏休み中の様々な経験（大会参加、ボランティア、ホームステイ、旅…）を、ぜひ文章にまとめ『羅針盤』に寄せてください。何字でも結構ですので書いたら慶徳に提出してください。